生徒がつくる主体的な取組の充実！
～「スマホ・ネット問題」への確実な歩み～

各地で具体的な動きが広がっています！

「スマホ・ネット問題」を乗り越えるため、中学校では生徒会が中心となった様々な取組が企画・実施されています。『OKAYAMAスマホサミット』に代表される「生徒総会等の工夫された提案」「ＰＴＡとの意見交換会」等々次第に生徒自身の声が高まりつつあります。生徒自らが問題解決に向き合うことは大変意味のあることです。

『OKAYAMAスマホサミット』の成果

主催：山陽新聞社、共催：岡山県教育委員会他

○スマホ使用を自己抑制アプリ『桃太郎アラーム』

・中学生のアイディアを基にスマホゲーム大手企業の「DeNA」の全面協力で完成させたアプリ。（グーグルプレイから無料インストール可能）

○生徒のアイディアを基にした啓発動画『夢の中のスマホ』他

・中学生が脚本を考案し作成した。無料通信アプリ「LINE」に潜む危険性等が訴えられている。

○ポスター「中学校スマホ宣言２０１５」（右図参照）の作成

・中学生が採択した「宣言」をテーマにしたポスターの作成。（各学校に送付済）

中学校の主体的な取組を参考にして小学校（児童会等）の取組を仕掛けましょう。中学生の主体的な活動に触れることで、小学生の意欲的な活動も感化されます。先手は万手です！